丸山台小学校　　　　　　　　　　　　令和元年９月１１日

としょだより No.4　　図書部

おまたせしました！！

あたらしい本がはいりました！

夏休みの前に、４年生から６年生のみなさんが「学校にあったらいいな」と思う本を選んで投票した「図書選定」。たくさんの希望があった本や先生方に選んでいただいた本が学校に届きました。

今回の「としょだより」では、その一部を紹介します。すべてをここで紹介することができないので、みなさん、ぜひ図書室に来て、実際に本を見てみてくださいね。あたらしい本は後ろのドア近くのコーナーに展示して、貸出もしています。
図書室前の廊下にも、あたらしい本を紹介しています。そちらもぜひ、見てくださいね。

「ふしぎなあおいふく」　　サトシンさく・ドーリーえ　ポプラ社
おかあさんに　かってもらった　あおいふく。じつは　まほうのふくなんです。ボタンが５つあって、ボタンを　おすと　あら　ふしぎ・・・

「おいしいぼうし」　　シゲタ　サヤカ/さく・え　　教育画劇
おじいさんと　おばあさんは　こげちゃで　まーるく　ひらべったいものをみつけます。あまいにおいに　おもわず　ペロリ。「おいしい！」　そのよる　ドアをたたき「ぼくの　ぼうし　しりませんか？」と　たずねてきたのは・・・

「ころべばいいのに」　　ヨシタケ　シンスケ/さく・え
わたしには　きらいなひとが　なんにんかいる。いやだったことを　おもいだしてしまうし、「わたしってダメなの？」と　じぶんのことも　きらいになっちゃう。いしにつまずいて、ころべばいいのに・・・

「もっとおおきなたいほうを」　　二見　正直さく　　福音館書店
おうさまは　たいほうを　ひとつもっていました。あるひ　キツネが　かわで　さかなをとっているのをみて「キツネのくせに　なまいきだ。」と、たいほうを　ドカンと　うちあげました。すると　キツネは　もっと　おおきな　たいほうを　もってきました。さて　どうなるでしょう？

「千びきのおおかみ―にほんのこわいはなし―」　　筒井　悦子著　　こぐま社
しゃみせんが　手に　はりついて　とれない男のはなし、千びきの　おおかみに　木の上に　おいつめられるはなし、つった魚を　もってかえろうとすると「おいとけえ」と声がする「おいとけぼり」のはなしなど、にほんのこわい　むかしばなしが　６つ入っています。

「手づくりおもちゃ」　　tupera tuperatyo著　河出書房新社
かみざら、けいと、ペットボトルなどの　みぢかなものを　つかって　おもちゃをつくろう。

「なんでも　もってる（?）男の子」　イアン・ホワイブラウ作・石垣賀子訳・すぎはらともこ絵　徳間書店

大金持ちのナンデモモッテル家の男の子が、たんじょうびに　ふつうの男の子をよんで、自分の持っているものを見せて　うらやましがらせようと思います。さて、どうなるでしょう？

「かぞえかたのえほん」　高野紀子作　あすなろ書房

魚は、生き物としては「ひき」で数えるけど、「尾」「本」「枚」など、魚の種類で数え方がかわります。ひつじは「ひき」、うしは「頭」。さるはどっち？

「はじめてのお菓子レッスンブック」　阪下千恵・監修　朝日新聞出版

クレープ、ケーキ、クッキー、ゼリー、ミルクレープ、トリュフ、エッグタルトパイなど、おいしそうなお菓子のレシピが５０ものっています。写真で作り方がのっているので、ぜひ、作ってみてね。

「こどもの手芸レッスンブック」　松村　忍・監修　朝日新聞出版

うさ耳ヘアゴム、レースのカチューム、ビーズアクセサリー、ロゼットブローチ、プラバンネームタグ、毛糸を使ったあみもの、レッスンバッグなどのぬいものなど５３作品の作り方がのっていますよ。

「似ていることば」　おかべたかし文/やまでたかし・写真　東京書籍

「ふくろう」と「みみずく」、「アザラシ」と「アシカ」、「池」と「湖」、「かべ」と「へい」、「卵」と「玉子」「林」と「森」、「火」と「炎」など、どうちがうかわかるかな？写真や解説で楽しめる本ですよ。

「写真でわかる　ことわざ辞典」　芳賀　靖彦・編集　学研

「ぬれ手にあわ」という、ことわざ知ってますか？あわは、せっけんのあわでは、ないですよ。どういう意味なのかを写真とともに教えてくれます。他に「写真でわかる四字熟語」「写真でわかる慣用句」も入ってます。

「さかあがりだってできる　魔法のことばオノマトペ」　辻藤野　良孝・著　大野文彰・絵　青春出版社

さかあがりは、「ギュッ、ピタッ、クルン」。とびばこは「サーッ、タン、パッ、トン」。バッティングは「スーッ、バチーン」など、オノマトペでこつをつかんでみよう。イラストもいっぱいですよ。ぜひ、ためしてみてくださいね。

「運動会で１位になる　速くなる走り方教室」　堀籠　佳宏・著　KANZEN

オリンピック日本代表コーチが、足が速くなる走り方を教えてくれます。うでは後ろに大きくふらない、地面をおすようにして走ろうなど、コツがのっていますよ。

「十歳までに読んだ本」　西加奈子、益田ミリ、杏ほか全７０名・著　ポプラ社

作家、女優、映画監督ら７０名が、子どものころに、どんな本を読んで、どんなふうに感じたのか、大人になった今も心に残っている本についてかかれています。

「ぼくは上手にしゃべれない」　椎野直弥・作　ポプラ社

吃音のなやみをかかえ中学に入学したぼく。自己紹介があるのは、わかっていたが・・・。著者自身の経験をもとに、吃音に苦しむ少年の葛藤と希望を描いた胸を打つ物語です。

☆夏休み前に貸し出した本をまだ返していない人はすぐに返してください！！

☆行方不明の本があります。丸山台小学校図書室のバーコードがついている本をみかけたら図書室までもってきてくださいね。